



東京都教育相談センターだより

東京都教育相談センター
Vol.39 平成21年1月21日
東京都文京区本郷1-3-3
電話 03-5800-8545
FAX 03-5800-8402

子供との信頼関係を築くほめ方と叱り方

子供は、教師から繰り返しほめられる経験によって自己肯定感を高めることにつながり、よりよく自分を成長させようとしていきます。また、教師は日ごろからの子供の良い行動や続けて欲しい行動を見付け、意図的に言葉にして児童・生徒一人一人に、時には全体の場を活用してほめていくことが大切です。

子供にとって叱られる経験も大切です。悪い言動に対して見逃すことなく、場の状況を考慮しつつも、迅速に叱ることが大切です。教師のこの姿勢が、子供の規範意識を高めていくことにつながっていきます。

このように、子供はほめられたり、叱られたりすることで、自分を理解してくれているという実感を持ち、教師に信頼感と安心感をもちます。

今回は、ほめ方、叱り方のポイントについて取り上げますので確認してみてください。

教師のほめる姿勢

子供の成長を期待しながら、小さな変化や行動を見付けほめることが大切です。

教師の叱る姿勢

子供を気遣い、「あなたを心配している」という教師の気持ちが込められている教師の姿勢が大切です。

ほめ方のポイント

その場でほめる
具体的にほめる
事実や感心したことをほめる
結果より努力をほめる
タイミングをはずさずほめる
小さな段階に区切って小さな変化をほめる

ほめるときの配慮事項

口先でほめない
発達段階に留意する
不自然にならないようにする
むやみ、気まぐれにほめない
みんなの前では公平にほめる
おもねったり、気をひいたりしない



叱り方のポイント

子供の状況に配慮して叱る
When : どのようなとき
その場の状況を配慮して叱る
Where : どのような場で
理由を明らかにして叱る
Why : なぜ叱るのか
毅然たる態度で叱る
気持ちは理解し、悪い行為について叱る
叱った後に適切なフォロー、声かけを行う



叱るときの配慮事項

感情的に叱らない
他の子供を引き合いに出さず、その子供のために叱る
規則や学校・学級の全体の都合だけで叱らない。
教師の都合・メンツで叱らない

東京都教育相談センターホームページの紹介

当センターの HP では、学校の先生が児童・生徒理解の参考となるように、次のような資料を掲載しています。

教育相談推進資料「子供の心が開くとき 子供と心が通うとき」

子供の心と命のサイン

子供のサインに気付いていますか？

「今、思春期の子供たちはどのように生きているのか」

などです。また、広報「すこやかさん」では、リーフレット形式で分かりやすく解説しています。

なお、当センターでは、学校の先生からの児童・生徒理解と対応に関するご相談を電話やメールでお受けしています。詳しくはHPをご覧ください。

東京都教育相談センターホームページ

<http://www.e-soudan.metro.tokyo.jp/>

子供のサインに気付いていますか？

このたび「子供のサインに気付いていますか？」の内容を見直しました。子供のサインについて、小学生、中学生・高校生に分け、家庭や学校での子供のサインの例、そのサインから予想されること、また、その対応についてのポイントを示しています。

(下記は一部抜粋です。詳細はHPをご覧ください。)

小学校用

子供が発するサインの例

- ・大人の前では無理に明るく、元気そうにふるまっている。
- ・「眠れない」と訴えたり、怖がって添い寝を求めたりする。

・友達の話題を避ける。 全 33 項目

子供のサインから予想されること

学校へ行きたくない気持ちが、腹痛、頭痛などの身体の不調という形で現れることがあります。

また、「行きたくない」という言葉や不登校の背景に、いじめや集団への不適応、学業不振などの別の問題が隠れていることもあります。

教師の対応のポイント

(1) 児童への注目

- ・児童の様子をよく観察しましょう。例えば、朝の会などの児童の出欠席を確認する際、一人一人の表情をよく観察しましょう。

(2) 学級経営等の充実

- ・児童が学級の中で自己存在感や自信をもてるよう、工夫しましょう。

(3) 保護者との信頼関係の充実

- ・保護者に連絡し、学校の様子を伝えるとともに、家庭での様子を聞きましょう。
- ・保護者の考えや気持ちをよく聴きましょう。

(一部抜粋 詳細はHP)

中学生/高校生用

子供が発するサインの例

- ・携帯電話やインターネット、ゲーム(TVゲーム、オンラインゲーム)をする時間が長くなり、家族と接しなくなる。
- ・言葉遣いが乱暴で怒ることが多くなる。

・お金の使い方が荒くなる。必要以上に小遣いを要求する。家からお金を持ち出す。 全 37 項目

子供のサインから予想されること

いじめは交友関係や本人の表情、身体の傷や持ち物の破損など、目に見える変化で現れることもありますが、誹謗・中傷など表面には出にくいものも少なくありません。特に、インターネットや携帯電話、メールを使ったいじめは、保護者や教師には見付けにくいものです。

教師の対応のポイント

(1) 生徒への注目

- ・生徒の様子をよく観察しましょう。
- ・教師が心配していることを生徒に伝えましょう。

(2) 学級経営等の充実

- ・学級の間人間関係に気を配り、誰にとっても居心地のよい温かい集団づくりに勤めましょう。

(3) 保護者との信頼関係の充実

- ・子供について学校が保護者と一緒に考えていくという姿勢を伝えましょう。

(一部抜粋 詳細はHP)